学校番号	１１２

令和２年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「美術 3」（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

絵画の分野を中心とし、基礎～応用と描写・色彩の実習をすることで少しずつ表現力と鑑賞力を付けていく。形と色を別々ではなく、関連させて表現・空想画なども製作することで自己表現の可能性を探る。

2　学習の到達目標

絵画・描写の基本をおさえたうえで、応用の技法もマスターさせる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	作品のテーマについて深く考え、想像力を働かせたり、独自のアイデアで作品に取り組んでいる。	自分の表現したいことを形にするために、多様な用具や技法を効果的に取り入れ、作品づくりを工夫している。	美術作品の美しさや時代背景に興味をもち、作者の感情について考えている。
評価方法	提出作品 ワークシート 授業態度	提出作品 授業態度	提出作品 授業態度	ワークシート 授業態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

一学期	描写・構成	「キュビスム的な見方で器物を描く」 キュビスムを資料鑑賞し理解を深めた後、器物（楽器・食器等）をスケッチし分割・再構成したドローイングを制作する。構図の工夫や面白さについて学ぶ。	○	○	○		a,d:美術史上の革新的動向に関心をもち、主体的に応用して描こうとしている。 b:形態の美しさとリズム・バランスについて深く考え、構図などをよく考えて作品に取り組んでいる。 c:色彩の要素もを効果的に取り入れ、工夫している。	提出作品 取り組み度 美しさ目標 達成度 鑑賞シート
	絵画	「近現代絵画史の理解と脱・写実的絵画の制作」 前課題で触れたキュビスムから抽象的表現など絵画に対する概念を拡大した近現代美術史に触れ、制作により追体験する。	○	○	○	○	a:近現代の非写実の絵画表現に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 b:各思潮の特徴についてよく学び構想に取り入れている。 c:自分の独自性を形にするために表現を工夫している。 d:事前の資料鑑賞、事後の作品相互鑑賞で自分の意見をまとめられる。	提出作品 取り組み度 美しさ目標 達成度 鑑賞シート
	デザイン	「吹田高校創立70周年ポスターの制作」	○	○	○	○	a:伝達のためのグラフィックデザインに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 b:デザインにおけるコンセプトの重要さについてよく学び構想に取り入れている。 c:自分の独自性を形にするために表現を工夫している。 d:事前の資料鑑賞、事後の作品相互鑑賞で自分の意見をまとめられる。	提出作品 取り組み度 美しさ目標 達成度 鑑賞シート
二学期	工芸	「自作の簡易な器具を用いた織物体験」 染織の面白さを知り、織物工芸に挑戦する。 「ものを作るためのものを作る」ことを体験することで、ものづくりへの敬意を養う。	○	○	○	○	a:工芸の美しさ・面白さを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 b: 織物の面白さや歴史的・文化的意味について深く考え、構想に取り入れている。 c:美しく制作するために、用具や技法など、作品づくりの技術面を工夫している。	提出作品 取り組み度 美しさ目標 達成度

	描写	「油絵による自画像にチャレンジ」 油彩画の特徴や表現の面白さを知り、自画像に挑戦する。	○	○	○	○	a:著名な美術作品の美しさを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 b: 自分自身を見つめることの意味について深く考え、作品に取り組んでいる。 c:対象を的確に表現するために、多様な用具や技法を効果的に取り入れ、作品づくりを工夫している。 d: 事後の相互鑑賞で作者の制作のねらいに興味をもち、作者の心情について考えている。	提出作品 取り組み度 美しさ目標 達成度
三学期	工芸	「廃物からアクセサリーを作る」 不要とされるものに対しての観念を逆転させ、美しく身を飾るアクセサリーに再生することで、発想の柔軟性や日常生活における美の意味とあり方について学ぶ。	○	○	○		a: 日用品の美しさや面白さに関心をもち、主体的に創造活動に取り組もうとする。 b:廃物の物質的特性を考え、独自のアイデアで作品に取り組んでいる。 c:自分のイメージを美しく形にするために、制作技術を工夫している。	提出作品 取り組み度 美しさ目標 達成度

※　表中の観点について

a：美術への関心・意欲・態度　　b：発想や構想の能力
c：創造的な技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。